



元気にスタートを決めるランナー

**第18回洞**  
**爺湖町**  
 クォーター  
 マラソン駅  
 伝大会(洞  
 爺湖町陸上  
 競技協会主  
 催)が、9  
 月23日あぶ  
 たふれ合い

センターをスタートに開かれました。

今年は、小学生低学年、同高学年、中学男女、一般の部合わせて34チームが参加。でんでん広場までの1往復を5人がたすきリレーして競いあいました。

優勝は次のとおり。

小学校低学年 とうや小学校ウルトラ3年生/同高学年 伊達西小駅伝部/中学校男子 アースユナイテッド/同女子 ANIMAL'S/一般男子 チャーシューメン(しょうゆ)

## 声援を背にたすきをつなぐ クォーターマラソン大会

## 遡上するサクラマスを観察 サクラマスを見にいこう

**産** 卵の季節を迎えた9月23日、「サクラマスを見に行こう」(財田自然体験ハウス主催)が行われ、洞爺湖から町内のソウベツ川に遡上するサクラマスを観察しようと、親子連れら12人が参加しました。

同ハウスからフットパスコースを歩いて、遊歩道のそばにあるえん堤まで移動。同職員の石山さんから説明を受け、



水中カメラでサクラマスのようすを覗く幼児

川に沈めた小型水中カメラから遡上の様子を観察しました。

子供たちは、時よりカメラに映るサクラマスに驚きの表情を浮かべ、初めての体験を楽しんでいました。

## ぶどうもりんごもおいしい くだもの狩りで日中友好

**洞** 爺湖日本中国友好協会は、春の花見会に続いて、9月25日、2回目の交流事業「秋の果物狩りと中秋節」を行いました。参加したのは、町内に居住している中国の研修生ら約50人。

当日は、あいにくの雨となりましたが、壮瞥町のくだもの農家浜田園で、ぶどうやリンゴ狩りを楽しみました。

参加者の一人は、「日頃仕事が忙しく、なかなか遊びに出る機会が少ないので、今日は本当に楽しい」と天候に恵



ぶどう狩りを楽しむ中国の研修生

まれない中でも笑顔を見せていました。

昼食には、ジンギスカンが振る舞われ、仲良く食事をしながら、交流を深めました。



厳粛に行なわれたアイヌ先住民族慰霊祭

**北** 海道  
 アイヌ協会洞  
 爺湖支部  
 (妻木征  
 男支部長)  
 は、9月  
 29日、平

成25年度洞爺湖町アイヌ先住民族慰霊祭(カムイノミ・イチャルパ)を、歴史公園にある先住民族慰霊碑前で行いました。同支部の会員や行政、議会、教育関係者ら約50人が参加して先祖の霊を慰めました。

カムイノミ(神への祈り)では、鶴川アイヌ文化協会の木下梅雄会長が祭司となり、火の神、幣場(ヌサバ)を司る神、家の守り神それぞれに祈りを捧げ、イチャルパ(先祖供養)では、女性らが先祖の霊に供物を贈りました。

引続き行われた懇親会では、鶴川文化協会の皆さんによる古式舞踊が披露され、厳粛な空気に包まれました。

## 神への祈りと先祖供養 アイヌ先住民族慰霊祭